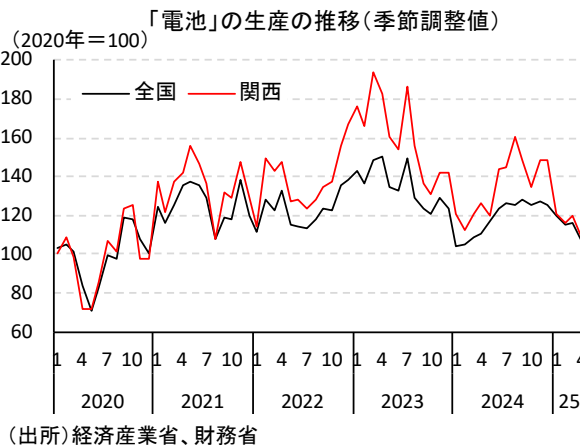
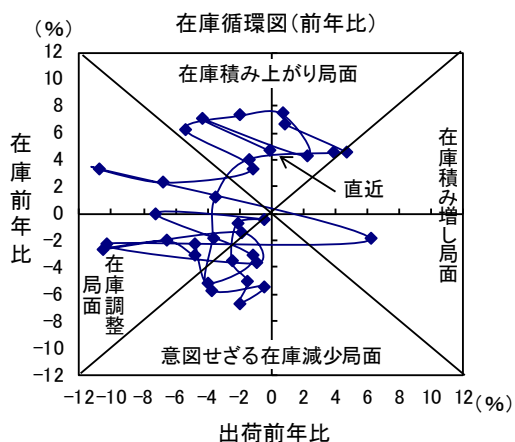
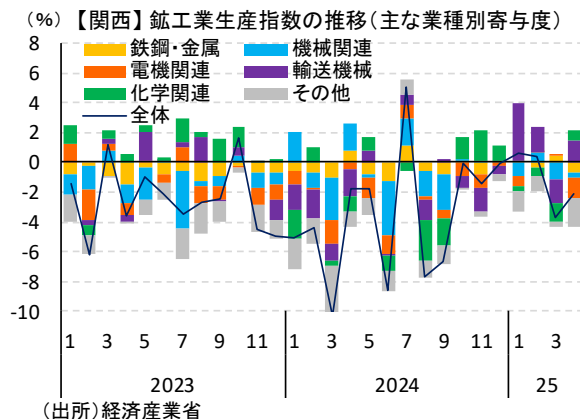
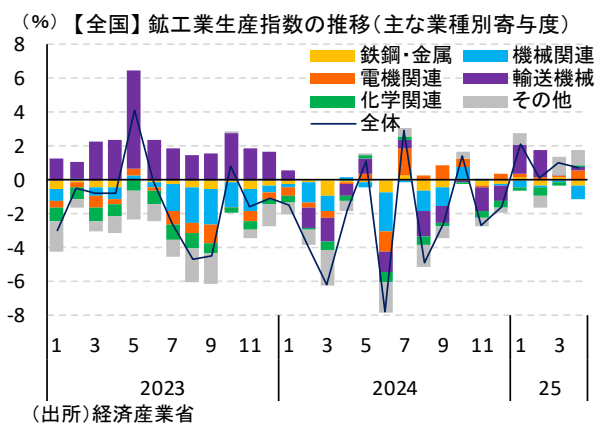


関西の景気トピックス【鉱工業指数（25 年 4 月）】

- 25 年 4 月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（原数値）は前年比で 2.2%減と、2 か月連続の減少となった。業種別には自動車関連が部品不足の解消に伴って増加となったものの、電機関連の減少などが響き、全体を押し下げる形となった。
- 在庫循環の状況を見ると、前月に続いて、需要が企業の予測を下回り、在庫が積み上がってしまう「在庫積み上がり局面」となっており、今後の推移が注目される。
- 直近の関西の生産動向をみる限り、個別要因での一時的な増加を除き、前年を下回る傾向が続いている。特に、電機や機械関連といった関西が強みをもつ分野にも力強さが感じられない。22 年後半から 23 年にかけて好調に推移した電池（リチウムイオン電池関連）についても、直近は世界的な EV の販売不振の影響で、全体的な鈍化傾向が続いている。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。